

3学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

3学年通信 60号 通算 240号

2017. 10. 5 (木) +100点

渡邊理香先生から「命の大切さ」を伝えて頂きました 学年主任 横山伸一

10月2日(月) 交通事故遺族の会「こまくさの集い代表」である渡邊理香先生からご講演頂きました。



先生は小学校1年生の娘さんを交通事故で亡くされました。その絶望と後悔、事故被害者家族の抱える苦悩、そして今を私達にお話し頂きました。未だ癒えること無い辛い思いであるにもかかわらず、私達に伝えたい！という想いのバトンは確かに受け取りました。それは生徒諸君も同じだと確信します。この受験期に成長するのは学力だけではありません。先生のお話は、必ず人生の糧となることでしょう。

3年生諸君は最高のタイミングで先生とお会いできたと思います。これは奇跡です。この奇跡、そして「当たり前」に感謝して生きていきましょう。そして「命のバトン」を次の世代に確実に渡すためにも今を頑張らしましょう。先生、本当にありがとうございました。

結びに、ある理系生の感想を紹介します。

最近、私はいろいろな人に助けられていると思います。大切にしたい人もいます。私がこう思うということは、恐らく、どんな人でも、そういう人がいるのではないかと思います。今、私の周りにいる人は、すべからず誰かにとって大切な人なのだと改めて思いました。周りに配慮する、気づかう、の本当の意味はここにあるのかなと感じました。これを機に、本当に真の意味での優しさを備えた人になりたいと思います。

シリーズ「タコ紹介！」 Vol. 4 忘れた頃のタコ紹介。誰のことかわかるかな？

3年1組 O. H さん

かなりの頑張り屋さんです。自分のことはしっかりやって、みんなと一緒に最大限楽しむスタンスを徹底しています。カメラを向けると、必ずポーズをとってくれるからか、行事等の写真に写っている確率がクラスでも一位二位を争います。明るい性格でクラスを盛り上げてくれています。

3年1組 M. G さん

普段は「****」している印象です。物事にこだわらず、マイペースな人です。部活の試合で勝っても「よっしゃー」ではなく、「やったー」ぐらいのゆるさだと聞いています。部活を引退してから、勉強にも身が入ってきたようです。やるときはやるという姿を見せてくれると思います。

3年1組 W. K さん

一年生のころから態度の大きさは変わっていません。クラスに先生がもう一人いるような雰囲気です。自分の信じる道をわき目も振らずに走っている印象です。生活のスタイルや自分のキャラ設定がぶれずに確立しており、うまく笑いをとりながら、自分のやりたいことはやるというスタイルが結構好きです。*ヒント出します ① 昔彼と同じ名前の新聞がありました ② センスのいい扇子持ってます ③ マロ？

3年2組 N. H さん

2人とも1年生の時から、クラスも部活も担任も一緒です(笑) テストの期間も学校にきて、学習していました。といっても、友達と机を合わせて、お菓子の山が……。いつも明るく、元気に頑張っています。色々なことをポジティブに考え、学校生活を楽しんできたと思います。家族思いで、弟さんがとってもかわいいようですね。そのまま素直なNHさんでいて下さい。

3年2組 T. R さん

2人とも1年生の時から、クラスも部活も担任も一緒です(笑) 普段はあまり活発なイメージはないのですが、体育祭でのサッカー競技では、サッカー部も驚くほどのドリブルを披露してくれました。女子サッカーの3位の入賞は、TRさんのおかげだと思います。友達と一緒にわいわいするのが好きで、相手の気持ちを考えて行動しています。そこが友人たちに好かれる理由なのでしょう。あなたのその良さは大事にして下さい。

3年3組 A. H さん

優しく落ち着いた雰囲気、クラスに癒しを与えてくれています。友人たちと、笑顔で語り合っているのは、きっと電車の話で盛り上がっているんでしょうね。合唱コンクールではバスの要となる存在で、大きな声で歌って盛り上げてくれました。受験まであと少し！！夢に向かって一緒に頑張っていこう！！

3年4組 K. M さん

南東北インターハイの興譲館高校の推進委員長や、自治会の活動、イベントに一生懸命取り組んでくれます。ユニークな視点、独特の発想力、それを実行しようとする行動力があります。がんばるあまり、KMの「武勇伝」的なエピソードも聞いちゃいっことあります☆

3年5組 F. S さん

ある日の学級日誌より。Q「最近爬虫類カフェなるものが流行っているようですが、FSが次に開くのは何カフェですか？」→A「やはり珍しい生き物がいいですね。トンボcaféなんてどうでしょう！」…う～ん、珍しいかなあ…。たぶん、落ち着けない、よね…。店内を飛び回っているのでしょうか。そして秋にしかオープンできません。この間は教室の後ろ黒板に長井の街歩き地図をド～ンと書いてくれていました。長井LOVERです。大きく成長して、是非地元を盛り上げて下さい。

3年5組 Y. T さん

出席番号が最後なので、なかなか学級日誌が回らないYT。去年の関西キャリ研での事件以来(あのイケメンvoiceがいつになく慌てていました)、大分落ち着いた行動をとるようになったように思います(たぶん)。クラスに二人しかいない長井(西置賜)組。教室では文化の街・長井を紹介すべく、二人で長井トークを繰り広げてくれています。3年生になって新しい目標を見つけた様子。黙々とそれに向かって進んでいる姿が見られます。今度また篠笛も聴かせてほしいなあと思っています。



*渡邊先生の詩です。米興HPを拡大して読んでみて下さい。なお10月3日(火)山形新聞に掲載されています。こちらでもどうぞ！

前号にて私の家族であるウチの猫達を紹介したところ「マメ太カワイイね」や「チャット凄いいね」とか意外に好評でした。学年通信も「こんだけ〜！」になったのでNOリアクションのときも多々あるわけです。でも、念のため言っておくけど、反応が欲しくて書いているんじゃないし、全然気しませんから私。これは強がりに聞こえるかもしれないけど実に真なのです。つまり、他人の評価はどうでもいいというか、自分が好きなこと書ければ満足なのです。だから、真っ白い紙面に思いきり書くことができ、生徒諸君や一部の愛読者に配付することができ、しかも理解ある管理職に恵まれて米興HPに掲載できと「3つもできる今」という奇跡に本当に感謝だけなのです。あと1つ告白すると、自分が書いたものなのに「良かった」や「何度も読みました」とが「発行回数凄いいね！」などと感動や感謝されることが本当に苦手なのです。昔からなのだけれど…。私がおかしいかしら？自動車ジャーナリストの福野礼一郎さんを、友人が「アノ人は表彰式とか絶対出ないし褒められるとその場から逃げちゃう」と評しているのを最近読んだので同類のようです。福野さんは私の大好きな作家です。クルマ好きなら「ホメずにいられない(1&2)」は軽いノリで最高に面白いし、理系の高校生諸君なら「福野礼一郎の宇宙(甲&乙)」は乗物の科学参考書としておススメです。その福野さんは「自分の書いたモノは1字1句覚えている」と豪語していたので、その点は私と違います。だって私は以前と同じようなことを毎度通信に書きますから？あと1人、好きな車作家は沢村慎太郎さん。「午前零時の自動車評論」や「スーパーカー誕生」は枕元にいつも置いてある。彼の本(やメールマガジン)は「基本オールテキスト」ですから。写真やイラストでお茶を濁さない潔さ。カッコイイね。少し影響受けています(以前書いたような気がするけど一切気にしない?)。

実は明日「センター試験100日前集会」なのです。この記念すべき日に「敢えて通信書かない！」も本通信の精神に合致している？けれど明日は海和先生にご挨拶をお願いしていて、私の話は無しにしたので少し後ろめたい気持ちがある。だから本当は「センター100日前に3年生諸君に贈る言葉」と思って始めたのに、真剣に向き合うことを避けてダラダラこまできた私。ここにきて敏感なアナタなら「前段のフリは全て言い訳だったのね」と悟ったことだろう。正にその通りです。正々堂々と直面することが苦手です。だから、こんな学年主任でゴメンね **終** としたい位です。でも何か1つ…。あっそうだ。今日の放課後の話をしよう。談話コーナーで「去年は泳いで家に帰ってすぐ寝ていた。あの頃、もう少し勉強していたらナ…」とコース一解きながら話をしてくれた。誰だかわかってしまうね？私は「大丈夫だよ。今まで全然勉強してないのだから、これからやったら伸びるだけさ！」と激励した(実に素直じゃないね、私?)。ホントはこう言いたかったんだ。

あの頃、君は自分がやるべきこと・やっておきたいことを精一杯頑張っていた。あのとき、そのときに常にベストを尽くしてきたことを私は知っている。そんな素晴らしい時を生きただけを誇りに思っている。でも「もう少し学力を！」と君が望むなら、正に今の一瞬一瞬を学びに尽くせばいい。それは100日前だろうが10日前でも前日でも同じ1日だ。だから一瞬を大切にするんだ。これを微分的思考という。また、一瞬が1秒・1分…と積み重なって1日となり100日となるのが積分的思考。人生は微分積分だ。セキブンするとイイキブンになる。ビブンするとビジンになる！！

私はダメだね？でも心配無用。家族&先生は皆君の応援団。共に闘う仲間もいる。悩み無用！ **終**

悲願「学年いもに会」ついに開催！

中間考査最終日。直江石堤で学年いもに会を「ついに」行いました。なぜ悲願なのか？と思う読者の方もいると思う。けれど、それは3学年関係者だけの胸にしまっておこう。私達だけの秘密だ？さて今回、落合先生(以下、落T)にカメラマンをお願いした。実は私がカメラを他者に任せることは少ない。それは他者を信用していない(?)こともあるが「お前のオールを任せるな」と中島みゆきさんと鈴木晃彦先生から学んだからだ。けれど今年 震災 新採として赴任した落Tには何かを感じた。実は彼、毎朝一番に学校に来ている。昨年までそれは竹田靖先生のお仕事？だったので「ヤッサンの再来」と噂されている。また二番手は私なのだけれど、朝「おはよう！」と挨拶すると「ウス！」と返す。何も頼んでも拒むこと無く「ウス！」と引き受けてくれる。私は彼と付き合い始めて半年「ウス！」以外の声を聞いたことが無い。イイ人なのだろうけれど実にミステリアスだ。そんな訳で興味津々でもあり彼にカメラを託したところ何とも素晴らしい写真を撮影してくれた。特にラスト一枚は、あまりに秀逸で「未来少年K」と名付けてしまった。でも、ホントにイイお天気☀で、秋風爽やかで、皆で作った「いもに」は旨いし、野球もサッカーも水泳も昼寝もしたし？最高の会になったと思う。それは、3年生諸君の普段の行いが良いからだと話した。イイ話を1つ。自転車の鍵を落とした人がいて、それを皆で探してくれたこと。「日没寸前にK君が川で発見してくれた！」と落とし主のH君が職員室に報告に来てくれた。ホント心も温まる一日となりました。

*ホント素敵な写真です。こちらもHPにてご覧下さい。

